

令和6年(2024年)4月26日(金曜日)

# ミシマバイカモ可憐



見頃を迎えたミシマバイカモ。三島市南本町の三島梅花藻の里

県の絶滅危惧種に指定されるミシマバイカモが、三島市南本町の群生地「三島梅花藻の里」で見頃を迎えた。梅の花に似た白く可憐(かれん)な花が来場者の目を引いている。

群生地を管理するグラウンドワーク(GW)三島に

## 三島・群生地

### 湧水が育む水中花

よると、ミシマバイカモは清らかな湧水が育む水中花。手のひら型の浮葉が特徴で、1930年に同市の楽寿園小浜池で発見された。花は一年中咲くが、暖くなる春からが見頃となる。水温が一定できれいな湧水の中で育つため「清流のバロ

メーター」と言われる。

一時は湧水の減少や水質悪化で市内の川から姿を消したが、GW三島が復元させようと95年に梅花藻の里を整備。同所で増殖させて市内の川に移植し原風景の再生を進めている。

(三島支局・岡田拓也)